

令和9年度（2027年度）春季入学

# 大学院環境共生学研究科 学生募集要項

（博士前期課程）

学内推薦選抜

- ・ 出願は、インターネット出願（インターネットによる出願登録及び入学検定料の支払の後、出願書類を提出する一連の手続となります。）に限ります。
- ・ 出願に当たっては、必ず本要項及び本学大学院入試ホームページに掲載する「インターネット出願ガイド」を確認してください。
- ・ 出願書類の提出は、郵送又は持参により行ってください。



# 目次

環境共生学研究科の入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）	1
入学試験日程・募集人員一覧	2

## 博士前期課程 学生募集要項

1 募集人員	3
2 出願資格	3
3 出願期間	3
4 出願手続	3
5 選抜方法	5
6 合格発表	6
7 入学手続	6
8 授業料	7
9 成績の情報提供（開示）について	7
10 個人情報の取り扱いについて	7
11 その他注意事項	8
環境共生学研究科（博士前期課程）のご案内	9
研究分野の特色	11
指導教員等一覧	13
研究志望調書等様式	

## 大学施設配置図

本要項の内容に変更が生じた場合は本学大学院入試ホームページにてお知らせしますので、常に最新の情報をご確認ください。

本学大学院入試ホームページ <https://www.pu-kumamoto.ac.jp/examination-graduate/>

## 環境共生学研究科の入学受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

### 1 人材養成の目標

[博士前期課程]

#### (1) 高度専門職業人の養成

環境問題に造詣の深い人材への社会的需要は極めて大きいため、環境共生に関する専門的・学術的な知識を有する高度専門職業人の育成を目指します。

#### (2) 研究者の養成

大学院博士後期課程へ入学できる人材を養成するとともに、公的研究機関や企業の研究開発部門で活躍できる人材の養成を目指します。

#### (3) 高度教育者の養成

高度な専門的知識を有し、教育分野で活躍できる人材の養成を目指します。

#### (4) 社会人の再教育

社会人に対しても広く門戸を開放することによって、改めて「環境」の視点から、自ら専門分野を再学修する機会を提供し、環境共生に関する広くかつ専門的な知識を備えた人材を養成します。

### 2 求める人材像

[博士前期課程]

環境共生学研究科の理念に基づき、学部において基礎学力、プレゼンテーション能力、語学力を身に付けており、高い研究学修意欲があると認められる学生、もしくは関連分野において同等の実務経験を持つ社会人。

### 3 入学者の選抜方法

入学者の選抜は、本学が定める学力検査（英語、専門科目）、面接及び研究志望調書等の書類審査の結果を総合して行います。

## 入学試験日程・募集人員一覧

### 博士前期課程

#### 【試験実施日程一覧】

	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
春季入学	令和8年 6月8日(月) ～6月12日(金)	令和8年 7月4日(土)	令和8年 7月13日(月)	令和8年 9月7日(月) ～9月11日(金)

#### 【募集人員】

春季入学	若干名
------	-----

令和9年度(2027年度)熊本県立大学大学院 環境共生学研究科(博士前期課程) 【春季入学】

## 学内推薦選抜

### 1 募集人員

環境共生学専攻  
春季入学 若干名

### 2 出願資格

本学環境共生学部を令和9年3月卒業見込みの者であって、次の(1)～(3)の条件を満たす者。

- (1) 学部3年次までの累積GPAが各専攻上位15%以内であること
- (2) 卒業論文の指導教員の推薦があること
- (3) 合格した場合は、本学大学院に入学することを確約できること

### 3 出願期間

- (1) インターネットによる出願登録及び入学検定料支払期間

令和8年6月8日(月)9時から6月12日(金)16時59分まで

※インターネットによる出願登録及び入学検定料の支払だけでは出願は完了しません。令和8年5月12日(金)17時までに出願書類の提出(必着のこと。)が併せて必要ですので、インターネットによる出願登録及び入学検定料の支払は余裕をもって行ってください。

- (2) 出願書類提出期間

令和8年6月8日(月)9時から6月12日(金)まで

郵送、持参を問わず、**最終日の17時までに本学教務入試課に必着**とします。

持参する場合の受付時間は、9時から17時までとします(ただし、12時20分から13時20分までの間を除く。)。なお、出願期間に土曜日、日曜日、祝日が含まれる場合、それらの日は受付を行っていません。

### 4 出願手続

- (1) 出願方法

本学大学院入試ホームページ(<https://www.pu-kumamoto.ac.jp/examination-graduate/>)にアクセスし、インターネット出願(インターネットによる出願登録及び入学検定料の支払の後、出願書類を提出(郵送又は持参)する一連の手続となります。)により出願してください。出願に当たっては、当該ホームページに掲載する「**インターネット出願ガイド**」により、出願方法に関する詳細を確認の上、行ってください。

インターネットによる出願登録の際は、指導希望教員を入力する欄があります。卒業論文の指導教員の氏名を入力してください。

出願書類提出期間中に本学教務入試課入試班に到達していない出願書類は受理しませんので、余裕をもって提出してください。また、出願書類に不備がある場合も受理しません。

- ① 出願書類を郵送する場合は、『**簡易書留・速達**』郵便で、令和8年6月12日(金)17時までに必着するように発送してください。

郵便事情により出願期間終了後に配達されたものは、以下の(ア)から(ウ)までの条件の全てを満たす場合に限り受理します。

【出願期間終了後に配達された出願書類を受理する条件】

- (ア) 『**簡易書留・速達**』郵便で発送されていること。
- (イ) 令和8年6月10日(水)までの消印があること。
- (ウ) 出願書類に不備がないこと。

- ② 持参する場合の受付時間は、9時から17時までとします(ただし、12時20分から13時20分までの間を除く。)。なお、出願期間に土曜日、日曜日、祝日が含まれる場合、それらの日は受付を行っていません。

(2) 出願に必要な書類等

出願書類等		摘 要
出 願 書 類 等	入学検定料 (入学者選抜手数料)	30,000円(別途、支払手数料が必要です。) 支払方法は、本学大学院入試ホームページに掲載する「インターネット出願ガイド」をご確認ください。
	入学志願票 (入学願書)	入学検定料支払完了後に、インターネット出願サイトからダウンロードできます。ページの拡大・縮小はせずにA4サイズ・横様式・カラーで印刷したものを提出してください。
	写 真 票	入学志願票と写真票は切り離さないでください(顔写真は、本学大学院入試ホームページに掲載する「インターネット出願ガイド」に記載の見本のとおりに撮ってください。)
	履 歴 書	履歴については、高等学校卒業以降(外国人留学生は、初等教育(小学校)入学以降)の学歴、職歴、研究業績、資格、賞罰等を出願サイトで入力してください。
	研究志望調書	卒業論文等これまでの研究経過及び希望する研究テーマとその概要について1,200字程度にまとめたもの。 本学大学院入試ホームページから所定の様式をダウンロードし、拡大・縮小はせずにA4サイズ(英語の場合は1枚程度)で印刷の上、様式に記載している注意事項に従って作成してください。 <b>【本学大学院入試ホームページ】</b> <a href="https://www.pu-kumamoto.ac.jp/examination-graduate/">https://www.pu-kumamoto.ac.jp/examination-graduate/</a>
	成績証明書(厳封)	出願資格に該当する本学作成のもの(学校長名、学校印、発行日の記載がある原本に限ります。)
	卒業見込証明書	出願資格に該当する本学作成のもの(学長名、大学印、発行日の記載がある原本に限ります。)
	外部外国語試験の成績証明	下記(a)もしくは(b)の公式認定証の写し又はデジタル公式認定証を印刷出力したものを提出してください。公式認定証の写しを提出した場合は、その原本を試験当日に持参してください。デジタル公式認定証を印刷出力したものを提出した場合は、別途「スコア確認サービス」にかかる手続きを本学から速やかにご連絡しますので、指示に従って手続きを行ってください。 なお、令和6年7月以降に実施された試験の成績が有効です。 (a) Official Score Certificate (TOEIC® Listening & Reading 公開テスト) (b) Score Report (TOEIC® IP テスト)
	卒業論文の指導教員の推薦書	本学大学院入試ホームページから所定の様式をダウンロードし、拡大・縮小はせずにA4サイズで印刷の上、作成してください。
	戸 籍 抄 本 ※該当者のみ	改姓により、成績証明書や卒業見込証明書等に記載されている氏名が現在の氏名と異なる方のみ提出してください。
住 民 票 ※該当者のみ	市区町村で発行したもので、在留資格、在留期間が明記されているものに限ります。 ※外国人受験者で、日本に滞在中の方のみ提出してください。	
そ の 出 願 用 封 筒 (角形2号封筒)	市販の角形2号封筒(A4サイズの書類が入る封筒)を用意してください。 インターネット出願サイトからダウンロードする、下記「封筒貼付用宛名シート」及び「封筒貼付用出願書類チェックシート」を貼り付け、出願書類提出の際に出願書類を封入する封筒として使用してください。	

その他	封筒貼付用宛名シート	入学検定料支払完了後に、インターネット出願サイトからダウンロードできます。ページの拡大・縮小はせずに印刷してください。 印刷後は、このシートを上記「出願用封筒」の表(おもて)面に貼り付けてください。
	封筒貼付用出願書類 チェックシート	入学検定料支払完了後に、インターネット出願サイトからダウンロードできます。上記「封筒貼付用宛名シート」をダウンロードする際に、併せてダウンロードすることができます。ページの拡大・縮小はせずに印刷してください。 記載されている確認項目により出願書類に不足・不備がないことを確認した上で、チェック欄に「○」を記入し、上記「出願用封筒」の裏面に貼り付けてください。

(3) 注意事項

- ① 出願書類等に不備がある場合は受理しませんので、「記入漏れ」、「誤記」等には十分注意してください。
- ② いったん受理した出願書類は、論文(原本を提出した場合に限る。)を除き、理由のいかんを問わずいっさい返却しません。
- ③ 既納の入学検定料は、次の(ア)から(ウ)までの場合を除き、理由のいかんを問わずいっさい返還しません。
  - (ア) 出願書類等を提出しなかった場合
  - (イ) 出願が受理されなかった場合
  - (ウ) 二重に支払った場合
 ※ (ア)から(ウ)までのいずれかの場合に該当し、返還を希望する者は、本学教務入試課入試班(TEL 096-321-6610)に連絡の上、指定のあった書類を提出してください。  
 なお、返還額は、本学からの振込時の手数料を差し引いた額とします。
- ④ 出願書類に虚偽の記載が発見された場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- ⑤ (2)の出願書類等のうち、出願期間最終日の17時まで提出できない書類等がある場合は、出願期間最終日の2週間前までに(4)の問合せ先に問い合わせてください。

(4) 出願書類の提出(郵送)・問合せ先

〒862-8502 熊本市東区月出3丁目1番100号  
 熊本県立大学教務入試課入試班 大学院入試担当  
 TEL 096-321-6610

(5) 受験票の準備

受験票は、試験日の10日程度前に、インターネット出願サイトからダウンロードできるようになります。受験者自身で受験票をダウンロードし、印刷(A4サイズ・カラーで印刷し、ページの拡大・縮小はしないこと。)の上、大切に保管し、試験当日に必ず持参してください。  
なお、試験日の3日前となってもインターネット出願サイト上で受験票がダウンロードできない場合は、本学教務入試課入試班(TEL 096-321-6610)まで問い合わせてください。

## 5 選抜方法

入学学者の選抜は、本学が実施する面接、外部外国語試験の成績及び研究志望調書等の書類審査の結果を総合して行います。

(1) 面接

研究志望調書の記入内容に関する口頭試問を含めて、面接を行います。

(2) 外部外国語試験(英語)

外部外国語試験として、TOEIC® Listening & Reading 公開テスト及びTOEIC® IP テストを指定します。なお、令和6年7月以降に実施された試験の成績が有効です。

(3) 試験日時

試験日	試験科目等	試験時間	配点	総点
令和8年 7月4日(土)	面接	10:00～	100	200
	外部外国語試験 (英語)	—	100 (※)	

※ 外部外国語試験の点数は、本学の定める基準により換算します。

注) 1 9時30分までに本学本部棟1階ロビーに集合してください。

2 面接の時間は、当日学内に掲示します。

3 試験当日の荒天(台風の接近等)が予想される場合、試験実施の有無等について、試験前日に本学ホームページ(<https://www.pu-kumamoto.ac.jp/>)に掲載します。必ず確認してください。

(4) 試験場

熊本県立大学 熊本市東区月出3丁目1番100号

TEL 096-321-6610

(5) 採点・評価基準

面接	今後の研究計画やこれまで行ってきた研究について説明を求め、意欲や能力を評価します。
外部外国語試験 (英語)	英語の基礎的能力を評価します。

6 合格発表

(1) 日時

令和8年7月13日(月) 13時30分以降

(2) 方法

合格者には合格通知書を送付します。

なお、電話、メール等による問い合わせには応じません。

また、合格者の受験番号については、参考までに本学ホームページに掲載します。

本学ホームページアドレス	<a href="https://www.pu-kumamoto.ac.jp/">https://www.pu-kumamoto.ac.jp/</a>
--------------	---

7 入学手続

入学手続として、インターネットによる入学手続情報登録の後、入学手続書類の提出(郵送又は持参)が必要です。

入学手続の詳細は、合格通知書とともに送付する書面でお知らせします。

(1) 手続期間

令和8年9月7日(月)から9月11日(金)17時まで(必着)

上記期間内に手続をしなかった場合は入学辞退とみなします。

(2) 提出書類

不備のないよう確認の上、次の書類を提出してください。

① 宣誓書(外国人留学生の場合は誓約書)

本学所定の様式(インターネットによる入学手続情報登録後に様式をダウンロードできます。ただし、外国人留学生の方はダウンロードせず、本学ホームページに掲載される外国人留学生用の誓約書の様式を使用してください。)

② 保証書

保証人(外国人留学生の方は日本国内在住の身元保証人(社会人に限る。))1名が必要です。

本学所定の様式(インターネットによる入学手続情報登録後に様式をダウンロードできます。ただし、外国人留学生の方はダウンロードせず、本学ホームページに掲載される外国人留学生用の様式を使用してください。)

(3) 書類の提出方法

郵送又は持参によること。

- ① 令和8年9月11日(金)17時までに到達していない入学手続書類は受理しませんので、余裕をもって提出してください。
- ② 郵送する場合は、『簡易書留・速達』郵便で、手続期間中に**必着**するよう発送してください。
- ③ 持参する場合の受付時間は、9時から17時までとします(ただし、12時20分から13時20分までの間を除く。)。なお、土曜日、日曜日、祝日が含まれる場合、それらの日は受付を行っていません。

(4) 書類の提出(郵送)・問い合わせ先

〒862-8502 熊本市東区月出3丁目1番100号  
熊本県立大学教務入試課入試班 大学院入試担当  
TEL 096-321-6610

(5) 入学金

本選抜に合格し、本学学部を卒業し引き続き大学院に進学する場合は、大学院入学者の優遇措置として入学金を免除します。

8 授業料(令和9年度予定)

年額 535,800円(各期267,900円×2期)

(注)在学中に授業料額及び納付期日等が改定された場合には、改定時から適用されます。

9 成績の情報提供(開示)について

(1) 提供する情報

得点 各試験科目等の総得点

順位 不合格者のみの情報提供で、不合格者が10名以上の場合に限りランクを表示します。

ランクは、不合格者を成績順に3ランク(上位1/3がA、中位1/3がB、下位1/3がC)に区分して表示します。

(2) 情報提供期間及び時間

令和8年7月16日(木)から8月17日(月)まで

受付時間は、9時から17時までとします(ただし、12時20分から13時20分までの間を除く。)。なお、土曜日、日曜日、祝日は受付・情報提供を行っていません。

(3) 提供依頼方法及び場所

入学試験を受験した本人が、熊本県立大学に来学の上、教務入試課窓口にて口頭で情報提供希望を申し出てください(代理人への情報提供はできません)。その際、本人確認のため、本学大学院受験票を持参してください。受験票を紛失した場合等は、問い合わせてください。

10 個人情報の取扱いについて

出願書類や入学手続に関して本学が知り得た個人情報及び入学試験の成績や結果に関する個人情報につきましては、個人情報の保護に関する法律に基づき、適正な管理を行ってまいります。

これらの個人情報は、本学における入学者選抜業務、入学手続、入学後の学籍・学生生活関係業務及び統計資料作成のために利用し、他の目的への利用や本学以外の者への提供は一切行いません。

なお、受験者本人から入学試験成績等の開示請求があったときは、個人情報の保護に関する法律等に基づき開示することになります。

## 11 その他注意事項

障がい等により受験及び修学に際して合理的配慮を希望する者は、令和8年6月8日(月)までに本学教務入試課入試班(096-321-6610)に相談の上、指示のあった書類を期日までに提出してください。

なお、申請方法や配慮の一般的な例等については、本学ホームページ(<https://www.pu-kumamoto.ac.jp/examination-graduate/consideration/>)に掲載しています。

## 環境共生学研究科（博士前期課程）のご案内

### 1 教育課程の編成

環境共生学研究科の理念及び人材養成の目標を実現するために、本研究科の教育課程は、次の4つの分野で編成されています。

- |            |             |
|------------|-------------|
| A 環境科学分野   | B 空間システム学分野 |
| C 栄養・健康学分野 | D 地域資源活用学分野 |

### 2 標準修業年限

2年

### 3 昼夜開講制の実施

社会の激変化、科学技術の急速な進歩に伴い、新たな専門知識、最新技術の修得の必要性が高まり、社会人の間では再教育に対する期待が増大しています。そこで社会人の受入を積極的に進めていくため、昼夜開講制を実施しています。

### 4 長期履修制度の実施

社会人の様々な学習需要に対応するために、長期履修制度を導入しています。この制度は、職業を有している、あるいは育児、長期介護等のために、年間に修得できる単位数や研究活動・学習活動への時間数が限られるため、標準の修業年限で修了することが困難な学生を対象に、事情に応じて、標準の修業年限を超えて計画的に教育課程を履修し修了することにより学位を取得することができる制度です。

入学者選抜試験前であっても、この制度について質問などがある場合は、教務入試課 教務班 (TEL 096-321-6609) に御相談ください。

#### (1) 対象となる方

- ① 職業を有し、標準修業年限2年で修了することが困難な方
- ② その他、長期履修が必要となる相当の理由がある方

#### (2) 修業年限

最長4年までの範囲内で認められた年限

#### (3) 授業料

標準の修業年限に支払うべき授業料総額（博士前期課程では2年間分）を、あらかじめ認められた修業年限で除した額をそれぞれの年（納期）に支払うこととなります。

#### (4) 申請手続及び長期履修の許可

申請を希望する場合は、指導教員に相談の上、申請書を教務入試課に提出してください。申請に対し、標準修業年限で修了することが困難であると認められた方について、長期履修が許可されます。また、新入生だけでなく、入学後に学習環境が変化した学生も長期履修を申請することができます。

[申請書類に添付する証明書等]

- ・勤務状況を証明するものや、内定通知書等の写し。
- ・育児・介護の必要性を証明するもの（例えば、母子健康手帳の写しや介護保険被保険者証などの写し）。
- ・その他長期履修が必要であることを証明するもの。

#### (5) 申請後の変更

在学中1回に限り可能

大学院研究科(春季入学) 入試状況(志願者数~入学者数)

研究科	日程	定員	選抜区分	R6年度				R7年度				R8年度				
				志願者	受験者	合格者	入学者	志願者	受験者	合格者	入学者	志願者	受験者	合格者	入学者	
環境共生学 研究科 (博士前期 課程)	春季入学 (秋季募集)	20名	一般	男性	5	5	5	5	3	3	3	3	6	6	5	5
				女性	5	5	5	5	6	6	6	5	8	8	8	8
				合計	10	10	10	10	9	9	9	8	14	14	13	13
			一般 (国際協力枠)	男性					1	1	1	1	0	0	0	0
				女性					0	0	0	0	2	2	2	2
				合計	0	0	0	0	1	1	1	1	2	2	2	2
			社会人	男性					0	0	0	0	1	1	1	1
				女性					1	1	1	1	0	0	0	0
				合計	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1
			社会人 (国際協力枠)	男性												
				女性												
				合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			外国人	男性												
				女性												
				合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	春季入学 (春季募集)	若干名	一般	男性	1	1	1	1	3	3	3	3	1	1	1	1
				女性	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1
				合計	1	1	1	1	4	4	4	4	2	2	2	2
			一般 (国際協力枠)	男性												
				女性												
				合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			社会人	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
				女性	3	3	3	3	1	1	1	1	1	1	1	1
				合計	3	3	3	3	1	1	1	1	1	1	1	1
			社会人 (国際協力枠)	男性												
				女性												
				合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			外国人	男性									1	1	1	1
				女性									1	1	1	0
				合計	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	1
計	20名	一般	男性	6	6	6	6	6	6	6	6	7	7	6	6	
			女性	5	5	5	5	7	7	7	6	9	9	9	9	
			合計	11	11	11	11	13	13	13	12	16	16	15	15	
		一般 (国際協力枠)	男性	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	
			女性	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2	
			合計	0	0	0	0	1	1	1	1	2	2	2	2	
		社会人	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	
			女性	3	3	3	3	2	2	2	2	1	1	1	1	
			合計	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	
		社会人 (国際協力枠)	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		外国人	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	
			女性	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	
			合計	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	1	
			合計		14	14	14	14	16	16	16	15	22	22	21	20

## 研究分野の特色

### A 環境科学分野

人口の増加と科学技術の進展に伴い、人間活動が増大し、大量の資源消費、化学物質等の環境中への放出等による環境負荷が増大し、地球環境に対して悪影響を及ぼしている。また、人間が健康で安全な生活をしていくためには、良好な地球環境を維持していく必要がある。環境負荷は人間への直接的な健康影響のみならず、湖沼や内湾などの閉鎖系水域や森林などへ不可逆的な影響を与えるため、化学物質の大気、水質、土壌等における現状とその挙動、生態への影響について理解する必要がある、環境分析化学的な調査研究に加え、生態への影響評価、地球物理学的な解析研究が必要である。

一方、地球上には多種多様な生物が生息し、複雑な生態系を構築している。生態系は微妙なバランスの上に成り立っており、生態系を理解することは、地球環境保全のためには重要なことであり、生態系は資源の供給源でもあることから、環境資源の保全という点でも極めて重要である。このような生態系における生物挙動、機能と構造、物質循環等を解明し、影響低減と利活用のための環境技術について教育研究することは、不知火海、有明海等の広大な沿岸域と阿蘇山地や九州山地といった山林域を抱える熊本県にとって、環境保全および農林水産業の振興という観点からきわめて重要である。

### B 空間システム学分野

持続可能な開発と地域コミュニティの再生は、現在の私たちが取り組むべき非常に大きな課題である。様々な建築物を含む私たちの生活空間の中には、これらの問題を解決するための多くの貴重な教訓が含まれている。一方で、環境と共生するための環境工学や建築技術の研究は、日進月歩の勢いで進んでいる。そこで、生活空間の歴史的な教訓を地球規模で学びつつ、最新の環境工学・建築技術との融合を図ることにより、環境と共生した、かつ地域コミュニティの形成に資するような生活空間の維持・創造の方法を追求する。

熊本県内には、熊本市のような大都市から人口数万規模の中小都市まで多様な都市空間が存在し、さらに背後には広大な農山村が控えている。これらのいずれの空間も、商店街の衰退、交通渋滞、田畑・森林の荒廃など、深刻かつ様々な問題を抱えている。こうした問題を教育の中で取り上げるとともに、環境工学、建築技術・計画、農村・都市計画などの分野の有機的な連携の下に、現実的な解決策を積極的に提言していくことをめざす。

### C 栄養・健康学分野

人は外部環境の変化に応じて、代謝調節機構によって内部環境が変化し、恒常性を維持することで正常な生命活動を営んでいる。すなわち、種々の生活・環境要因によって代謝が調節を受け、健康状態にさまざまな影響を与えている。現在、生活様式の多様化や少子高齢化などにより生活環境が大きく変化してきている。特に熊本県は、全国有数の長寿県であるが、高齢者の生活の質の維持・向上には「生き甲斐のある健康づくり」がきわめて重要で、質の高い栄養・健康環境の構築には、適正な食生活とともに適度な身体活動が必要である。例えば、高齢者の健康を脅かすものに生活習慣病や虚弱（フレイルティ）があるが、これらの要因や一次予防法を医学的、栄養学的、運動生理学的観点から究明することはきわめて重要である。

栄養・健康科学分野では食生活や身体活動を介した健康維持増進と疾病予防に関わる高度な教育研究を行い、高度な専門的研究者を養成する。また一方で、大学院で培われた高度な技術を社会に還元することが重要であり、そのためには、特に地域住民の健康増進と地域社会の環境向上のために貢献できる実践的専門家の養成を行う。

#### D 地域資源活用学分野

安全な食糧の安定供給ならびに循環型・環境保全型の食糧生産技術の構築は人類の最重要課題の一つである。この課題解決のためには、国際的なレベルで資源利用についての社会変革が求められる一方で、地域レベルでも取り組みを進め、地域での資源循環システムを構築することが必要となる。地域資源活用学分野では環境資源、居住環境、食健康環境の3つの視点を融合し、地域資源を持続的に活用していくための教育研究を行う。

たとえば、地域の農林水産業の活性化に関する教育研究、有用微生物を活用した食糧生産技術・環境保全技術の開発・研究や高い生物生産力を持つ海洋生態系の構造と機能の解明は、持続的な農林水産資源利用のあり方を示し、未利用資源の活用につながる。また、新規食資源の開発や食品創製の教育研究は食糧資源の有効利用や食糧廃棄の低減をもたらし、食糧生産を側面的に支援するとともに、食糧生産に伴う環境負荷を低下させる上で重要な意義を持つ。さらに、食品のもつ恒常性の維持増進機能（機能性）に関する研究と健康維持への利用は食品の付加価値を高め、農林水産資源の有効活用につながる。一方、多種多様な化学物質の氾濫、世界的規模でおこなわれている食糧の流通を考えると、食品の安全性に関する教育研究は必須である。また、農山漁村地域の地域資源を地域の住民や企業とともに発掘し、それを磨き、活用していくことは、そのプロセス自体が地域活性化に向けた方策となる。

このように、本分野では環境保全型の農水産業の推進・振興、地域食品産業の活性化、農山漁村地域における地域資源を活かした地域づくり、農地の保全・利活用といった観点から、地域資源を活用し資源循環システムを構築するための方策を科学的・学術的に研究教育する。

## 指導教員等一覧

令和9年度予定

研究分野※1	職名	氏名	担当授業科目名
A 環境科学分野	教授	阿草 哲郎	大気・水系環境科学特論 化学物質精密計測学 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	教授	石橋 康弘	環境材料科学 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	教授	小林 淳	大気・水系環境科学特論 環境物質動態学 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	教授	張 代洲	大気・水系環境科学特論 大気物質循環論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	准教授	小森田 智大	大気・水系環境科学特論 沿岸生態学 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	准教授	斎藤 達也	森林生態学特論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
B 空間システム学分野	教授	高橋 浩伸	共生住空間論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	教授	辻原 万規彦	パッシブ環境調整工学 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	教授	李 麗	空間構造論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	准教授	佐藤 哲	建築計画学特論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	准教授	鄭 一止	共生都市空間論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	准教授	南部 恭広	木質構造設計論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ

※1 「研究分野の特色」を参照

## 指 導 教 員 等 一 覧

令和9年度予定

研究分野※1	職 名	氏 名	担当授業科目名
C 栄養・健康学分野	教 授	坂 本 達 昭	健康栄養管理学 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	教 授	下 田 誠 也	臨床機能栄養学 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
		(選 考 中)	環境人間工学 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	准教授	中 嶋 名 菜	栄養・健康学特論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	准教授	吉 田 卓 矢	栄養生理学 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	講 師	中 下 千 尋	栄養制御学
	助 教	田 尻 絵 里	栄養制御学
D 地域資源活用学分野	教 授	一 宮 睦 雄	沿岸海洋資源学 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	教 授	柴 田 祐	農山村域環境ストック論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	教 授	白 土 英 樹	食品機能分析学 食品機能論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	教 授	友 寄 博 子	栄養機能化学 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	教 授	松 崎 弘 美	応用微生物学 食品機能論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
		(選 考 中)	植物資源利用学 食品機能論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	准教授	阿 南 弥 寿 美	食資源安全性論 食品機能論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ

※1 「研究分野の特色」を参照

## 指 導 教 員 等 一 覧

令和9年度予定

研究分野※1	職 名	氏 名	担当授業科目名
その他	環境共生学研究科長		環境共生学特論
	教 授	Jeffrey Morrow	環境共生学演習 I、II
	教 授 (九州産業大学)	森 大 建	環境共生学特論
	准教授	田尻 美千子	環境共生学特論
	連携教授 (熊本県環境センター)	山 元 恵	環境共生学特論
	連携教授 (国立水俣病総合研究センター)	吉野 健児	環境共生学特論
	教 授	石村 秀登	教職実践研究 I、II
	特任准教授	篠塚 致子	家庭科教育特論
	非常勤講師	吉村 英一	栄養制御学
	非常勤講師	田中 昭雄	人体適応工学

※1 「研究分野の特色」を参照

(注) カリキュラム(教育課程)、シラバス(授業内容)については本学ホームページ(<https://www.pu-kumamoto.ac.jp/>)をご覧ください。



## 研究志望調書

受験者氏名 : \_\_\_\_\_

[テーマ]

[概要] (1,200字程度)

- ※1 横書きとしてください。
- ※2 パソコン入力、手書きのどちらでもかまいません。
- ※3 この様式は本学ホームページ「入試情報(大学院)」から印刷可能です。



# 推薦書

熊本県立大学長 様

(受験者)

氏 名

生年月日

【 西暦・昭和・平成 】(※該当するものに○をつけること。)

\_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日 ( \_\_\_\_\_歳)

上記の者は、熊本県立大学大学院環境共生学研究科（博士前期課程）の被推薦者の出願資格に該当すると認め、責任をもって推薦いたします。

令和 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日

[推薦者]

所 属

環境共生学部環境共生学科\_\_\_\_\_専攻

職 名\_\_\_\_\_

氏 名\_\_\_\_\_ (自署)

[推薦理由]



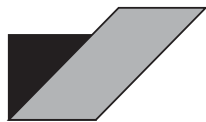
# 大学施設配置図

日赤病院





再生紙を使用しています。



熊本県立大学

〒862-8502 熊本市東区月出3丁目1番100号  
TEL.096-321-6610(教務入試課入試班直通)  
FAX.096-383-2364  
<https://www.pu-kumamoto.ac.jp>  
E-mail:nyusi@pu-kumamoto.ac.jp